

CONTENTS

月刊 マスコミ市民

2026年

FEB

No. 685

特集■政治とメディア、そして市民

【対談】政治とメディアと市民

- 言語を絶するぐらい酷い、戦後最悪の高市首相 金子 勝 2
山口 二郎

誰もグリップできずに暴走する高市政権

- 事の本質を伝えず、判断材料を提供しないメディア 中野 晃一 20

沖縄有事から日本有事へ

- 進む日本列島全体の沖縄化、そして不沈空母へ 前泊 博盛 34

市民はどこにいるのか

- 竹信三恵子 47

沖縄から全国メディアを見つめる

- N H K 态度に見る基地報道の軽さ 阿部 岳 50

N H K の井上樹彦新会長に求めること

- 長井 眇 54

マスコミ市民を読み直す①

- 永田 浩三 60

■メディア時評191

- 喫緊のこと これからのこと 古川 英一 70

■連載■放送を語る会 談話室194

- 放送を語る会の声を届け続ける「窓」として(1)
～放送を語る会の会員から 73

◆地域メディア訪問51

- 大規模災害に備えるコミュニティ放送局 松本 恭幸 76

●拡散する精神／萎縮する表現 (179)

- フェミサイド処罰の世界の動き (二) 前田 朗 86

【山椒のひとつぶ】

- 棄民の国 しんすご 88
(辛淑玉)

- ◆編集手帖 90